



当初設計

2024年度

潰の手橋

福山市

東村町

地内

橋梁補修調査設計業務委託実施設計書

当初設計

第1回変更

橋梁補修設計(橋長2.0m) N=1橋

業
務
概
要

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁補修調査設計業務委託（潰の手橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月広島県測量業務共通仕様書、設計業務等共通仕様書、地質・土質調査業務共通仕様書（以下共通仕様書という）、「福山市土木設計業務等委託契約約款（契約書を含む）（以下契約約款という）」、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市測量・建設コンサルタント等業務検査基準」
- ・その他関連規格類
- ・「令和6年度改訂版 工事工種体系ツリー」、「令和6年度 土木工事数量算出要領」

第2節 管理技術者及び照査技術者

- ・受注者は本業務において、適格な管理技術者及び照査技術者を配置するものとする。
- 管理技術者及び照査技術者資格要件
- 技術士又はシビルコンサルティングマネージャーの資格保有者（「設計業務委託等共通仕様書」第1107条）
- 設計業務の種類：鋼構造及びコンクリート
- 技術士：技術士法（昭和58年法律第25号）第4条に定める技術部門のうち「建設部門」における左記「設計業務の種類」に該当する資格
- シビルコンサルティングマネージャー（RCCM）：上記「設計業務の種類」ごとのRCCMの資格
- 添付書類：技術士又はRCCMの資格証の写し（コピー可）

第3節 担当技術者

- ・受注者は本業務において、担当技術者の配置については、監督員との協議により省略できるものとする。

第2章 業務条件

第1節 基本条件

- ・業務内容及び測量予定箇所については事前に監督員と打合せ、承認を得るものとする。
- ・本業務の測量の基準となる与点は、街区基準点によるものとする。

第2節 業務内容

1. 現地調査・業務計画作成

現存の点検結果、図面等による当該橋梁の諸元、状態を把握する。
現地調査による損傷箇所の調査、損傷原因の推定及び設計に必要な項目について調査を行う。
以上を踏まえて、当該業務の実施計画を立案する。

2. 補修工法検討・原因除去対策検討

当該橋梁の構造特性、施工性、経済性、維持管理等との整合など総合的な観点から3案程度の工法比較を行い、検討する。また、損傷原因となる部位についての対策を検討・設計する。

3. 損傷図補完【上部工】

上部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

4. 図面・数量計算・概算工事費作成【上部工】

上部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

5. 損傷図補完【下部工】

下部工の全体的な損傷に対して、損傷箇所の現地精査を行い、図面作成に必要なデータの補完を行う。

6. 図面・数量計算・概算工事費作成【下部工】

下部工における補修工事の発注積算に必要な設計図書、数量計算を作成し、概算工事費を算定する。

7. 照査

設計内容について、現場との整合性、施工性等について着目し照査を行う。

8. 報告書作成

設計業務の成果として、成果の取りまとめを行う。

第3章 打合せ

第1節 打合せ

- ・業務着手時及び成果品納入時には、管理技術者又は照査技術者が同席するものとする。

第2節 打合せ回数

- ・打ち合わせの回数は、3回とし次の段階で行うものとする。

第1回 業務着手前の段階

第2回 中間打ち合わせ

第3回 成果品納入時

第4章 電子納品

第1節 電子納品

- ・本業務は、電子納品対象業務とする。

電子納品とは、「平成29年度 福山市電子納品実施要領[土木委託編]」（以下「要領」という）に基づき、「調査、設計、業務などの各業務段階の最終成果を電子データで納品すること」をいうものとする。

第2節 事前協議及び検査前協議

- ・業務着手前及び納品検査前に十分な協議を行い、双方の合意を図るものとする。

第3節 電子納品データのチェック

- ・電子納品にあたっては、フォルダの構成、管理項目、ファイル名等の要領との整合性をチェックプログラム（国土交通省の電子納品チェックシステム等）により確認し、エラーがないことを確認すること。
- ・成果品提出の際には、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。

第5章 成果品

第1節 成果品の提出（電子納品）

提出すべき成果品及び提出部数は次のとおりとする。

福山市電子納品要領に基づく成果品

正 1

副 1

簡易製本 1

報告書 1

第2節 成果品の装丁等

- ・ 成果品の装丁等は次のとおりとする。
- ・ 製本は極力分冊を避け、また分冊を行う場合は、内容の配分を考慮して行うものとする。
- ・ 報告書は、長期の使用に耐える通常の装丁を行う。

第3節 成果品に係る費用

- ・ 成果品の納品に係る費用については、従来どおりの経費の扱いに含むものとする。

第6章 その他

第1節 その他の項目

- ・ 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-06.10.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託	
発注区分	当世代 41 建設コンサル	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
橋梁補修設計業務					Y2C04 レベル1
打合せ	1	式			Y2C0401 レベル2
打合せ	1	式			Y2C040101 レベル3
打合せ	1	式			Y2C04010101 レベル4
打合せ 設計業務	1	業務			SA010100010 00 単第0 -0001 表
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C0402 レベル2
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C040201 レベル3
橋梁補修設計業務	1	式			Y2C04020101 レベル4

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁補修設計 橋長2m以上15m未満	1	橋			SHDA0061 00 単第0 -0002 表
** 直接人件費 **					
直接経費					Z0001
旅費交通費	1	式			YZZ0101 レベル2
旅費交通費	1	式			YZZ010101 レベル3
旅費交通費	1	式			YZZ01010101 レベル4
旅費交通費（設計）	1	式			S2Z0101X3 00 単第0 -0008 表
電子成果品作成費	1	式			YZZ0102 レベル2
電子成果品作成費	1	式			YZZ010201 レベル3

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品作成費					YZZ01020101レベル4
電子成果品作成費(設計) 概略設計, 予備設計及び詳細設計		式			S2Z0102X3 00
	1	式			単第0 -0009 表
* * 直接原価 * *					
その他原価 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 間接原価 * *					
* * 業務原価 * *					
一般管理費等 計算情報..... 対象額..... 率.....					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報..... 対象額..... 率.....					

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
業務費計					

施工単価表

橋梁補修設計
橋長2m以上15m未満

SHDA0061

単第0 -0002 表

1 橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
現地調査・業務計画書作成	1	橋			単第0-0003 表
補修工法検討・原因除去対策検討	1	橋			単第0-0004 表
図面・数量計算書・概算工事費作成 (標準歩掛:片側1車線相当まで)	1	橋			単第0-0005 表
照査	1	橋			単第0-0006 表
報告書作成	1	橋			単第0-0007 表
*** 単位当たり ***	1	橋			
A=1 [有]現地調査・業務計画書作成 C=1 [有]図面・数量計算書・概算工事費作成 E=1 [有]照査			B=1 [有]補修工法検討・原因除去対策検討 D=1 - F=1 [有]報告書作成		

尾 道 市



図面番号	1 / 1	縮 尺	S=1:10,000
業 務 名	橋梁補修調査設計業務委託		
種 別	位置図	番 号	
橋 梁 名	潰の手橋		
業務場所	福山市東村町地内		
福 山 市			